


【岐阜女子大学】メタデータ項目と記述内容

	メタデータ項目	メタデータ記述欄
1	ID	
2	表題名	沖縄のサトウキビ
3	資料名	グーサンウージ
4	内容分類	郷土・歴史
5	索引語	沖縄、生活文化、サトウキビ、グーサンウージ、旧盆
6	説明	<p>沖縄方言で「グーサン」とは杖（つえ）、「ウージ」とはサトウキビを指す。沖縄では、旧暦7月13日から15日にかけて、各家々で盆行事（旧盆）が行われる。行事の内容や作法には地域差があるが、共通してご先祖様を家に迎え、供養する期間とされている。</p> <p>13日のウンケー（お迎え）は、先祖の霊を迎え入れる日であり、仏壇や位牌を清め、生花や果物、提灯、グーサンウージ（祖霊の杖となるサトウキビ）のほか、アダンの実など6～7品の供物を仏壇に飾る。</p> <p>グーサンウージは、先祖の霊が使用する杖を象徴するもので、具体的には7節分の長さを持つサトウキビを2本用い、仏壇の左右両脇に立て掛けて供えられる。</p> <p>これは、あの世とこの世を行き来するご先祖様の安全や護りを願う意味が込められており、特に旧盆の時期に重要な役割を果たす供物である。</p>
7	形式	静止画(jpg)
8	氏名	*****
9	時代・年	撮影日：2025/09/04
10	地域・場所	
11	利用条件	表示 4.0 国際(CC BY 4.0)
12	関連資料	
13	権利者	岐阜女子大学
14	協力者	
15	登録日	2026/01/10
16	登録者	宮田璃音
17	ファクトデータ	circd0887-0021. jpg

18	サムネイル	
19	公開の可否	
20	* 特色	<p>①グーサンウージを左右に2本ずつ用意する理由</p> <p>グーサンウージを左右に二本ずつ、計4本用意して供えるのには理由がある。沖縄の仏壇に供える供物は、基本的にすべて「対（つい）」となるように用意されるという考え方がある。これは、左右の均衡を重んじ、ご先祖様を丁重にもてなすという意味が込められている。</p> <p>グーサンウージは、ご先祖様があの世へ帰る際に使用する「杖」となるほか、荷物を肩に掛けて持ち運びやすくするための道具としても用いられるとされている。このため、「杖としての役割」と「荷物を持つための役割」という二つの意味をそれぞれ一本ずつに込め、これを対として左右に供えることから、合計四本を用意する形となった。</p> <p>このように、グーサンウージの本数には、沖縄の供養文化における対の思想と、ご先祖様の安全や利便を願う実用的な意味が重ね合わされている。</p> <p>参考：グーサンウージ（旧盆のお供え物）．リンク： https://butudangoto.com/?p=637. 閲覧日：2026/1/10</p> <p>②サトウキビである理由</p> <p>そもそも、なぜ本物の杖ではなくサトウキビが供えられるのか。</p> <p>その背景には、沖縄の年中行事における「イチミ（現世）とグソー（あの世）を対極的に扱う」という考え方がある。たとえば、私たちが使う紙幣が横向きであるのに対し、ご先祖様に供えるお金（グソーヌジン・ウチカビ）は縦向きに置くなど、現世とあの世を区別するために“似ているが同じではないもの”を用いる習慣がある。同様に、現世で魔除けや杖として使われる青竹に対して、あの世では青竹に似た植物としてサトウキビが選ばれ、杖とし</p>

		て供えられるようになったとされる (引用・要約：琉球・沖縄年中行事 なんでも Q&A 旧盆のサトウキビ 年中行事 コラム 住宅情報紙「週刊かふう」新報リビングニュース - かふう Web. リンク : https://kahu.jp/lifestyle/annualevent/article-22025/ . 閲覧日：2026/1/10)
2 1	* 活用支援	
2 2	* 利用分野	教育、生涯学習、地域学習、観光
2 3	* 改善結果	
2 4	* 処理プロセス	
2 5	機関外リンク情報	
2 6	目標	
2 7	紹介	